



保育室便り 5月号



五月晴れの気持ちの良い日が多く、子ども達も汗ばむほどの日もありました。公園の木々も青々と茂り日陰での虫探し、タンポポの綿毛を見つけては摘んで吹いて遊びました。クローバーを見つけ一生懸命に吹いて飛んでいかないと不思議そうな顔している姿はとても愛らしく感じられました。お部屋では季節の花のカーネーションを手形で作りました。「画用紙に好きなようにぺたぺたして」の声かけに戸惑う子もいましたが一緒にして見せると、楽しいスイッチが入りダイナミックになり、白い紙が赤くなっていく変化を楽しんでいるようでした。鯉のぼりのうろこにも子ども達の手形とシール貼りを楽しみ、出来ることが増えた5月でした。

サカナ釣れないかな？



連休明けに夏野菜の苗を植えました。今年は天候に恵まれ子ども達の水やりのお手伝いもはかどっています。そのおかげか成長が、とても良く黄色の花も付き始めました。シャボン玉遊びの時にも葉っぱに着いた玉を見て、キュウリやトマトにも見せてあげて喜んでいる子ども達です。



5月の絵本

「くわずにょうぼう」

福田 和子・再和 福音館

読み継がれている昔話です、先人が子ども達に伝えたいことが沢山入ったお話です。

「チャレンジミッケ! おもちゃぼこ」 ウォルター・ウィック 作 小学館

親子で楽しんでほしい一冊、ゲームのように楽しめる絵本です。

「げんきがでるよ かしわもち」

山本昭三 作 教育画劇

子どもの日に柏もちを食べる習慣の始まりと、兄弟思いの子ども達の冒険のお話です。

6月の遊び

室内では・・・ドールハウスや、おままごとで、「おうち」に関する遊びを楽しみます。
お散歩では・・・梅雨の時期に咲く花や、貴重な晴れ間では体を十分に動かして遊びます。
製作では・・・雨や水が好きな動物、「雨」を意識した製作も楽しめます。

意識したい行事 梅仕事

その年の6月ごろに収穫した梅の実を使って、梅酒や梅干しをつくることを「梅仕事」と言います。舞鶴公園の梅園で梅の実を見た経験のある子ども達です。甘酸っぱい良い香りがする梅の実を家庭でも子どもと一緒に夏の飲み物として梅シロップを作ってみましょう。家庭で出来る保存食、氷砂糖が少しずつ解けていく様子を待ち遠しく感じる楽しさも経験出来るこの時期の行事です。